

Japan Society of Sports Industry

日本スポーツ産業学会

学会ニュース

No.112

第7回冬季学術集会のご案内

1. 日 時：2020年2月16日(日)10：00～17：00（予定）
2. 場 所：同志社大学 室町キャンパス 寒梅館（京都市営地下鉄烏丸線今出川駅 徒歩1分）
〒602-0023 京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町103
3. 参加費：無料 ※ランチタイムセッションの弁当代500円は別途徴収
4. 参加申込方法：学会HP (<https://spo-sun.gr.jp/>) “参加申し込みフォーム” よりお申送ください。
HPからのお申込は2月10日(月)17時までです。尚、当日参加も受け付けます。
5. スケジュール（予定）
 - 9：30 受付（ランチタイムセッション：弁当（有料：500円）チケット引き換え）
 - 10：00 オープニングセレモニー 日本スポーツ産業学会 会長 挨拶
 - 10：10 冬季学術集会シンポジウム2020
「スポーツ産業が創る地域の未来 ～ポスト・ゴールデン・スポーツイヤーズの可能性～」
 - 12：00 ランチタイムセッション（90分）
詳細調整中
ランチタイムセッションは、ランチをしながら他大学の学生同士でテーマを決め
討論・議論することで、普段考えている疑問やゼミなどの内容についてお互い
を知ることが目的です。研究発表をする人もしない人も、どなたでも参加できます。
 - 12：00 理事会（同志社大学 室町キャンパス 寒梅館 6階大会議室）
 - 13：30 リサーチ・カンファレンス2020
リサーチ・カンファレンスは、専門学校生、短大生、大学生、そして大学院生が「学
生らしく」、研究の成果を報告するセッションです。
皆さんのフレッシュでエネルギッシュな発表を数多くお待ちしております。
- 参加資格 若手研究者セッション：大学院生（前期課程・後期課程）
卒論セッション：学部4年生
ジュニアセッション：学部1～3年生・短大生・専門学校生
- 若手研究者セッション、卒論セッション、ジュニアセッション、それぞれにおいて審査員
が評価し、優秀研究に対して各部門の賞が授与される。
受賞対象となるのは、発表申込時に事前エントリーした人のみ。
- 17：00 各セッションの表彰及び理事長の挨拶
6. 問合せ先：日本スポーツ産業学会事務局（Mail:jssi@spo-sun.gr.jp）

◇も く じ◇

・冬季学術集会シンポジウム2020について……………	2
・リサーチ・カンファレンス2020発表募集について……………	2
・Sport Policy for Japan 2019 (SPJ) 開催報告……………	2
・スポーツICT研究会開催報告……………	4
・事務局より……………	5
・『スポーツ産業学研究』原稿募集……………	6

冬季学術集会シンポジウム2020について

「スポーツ産業が創る地域の未来 ～ポスト・ゴールデン・スポーツイヤーズの可能性～」

▼ディスカッションの主な論点

- ① [政治・行政] 京都から生み出されるスポーツ×地域経済：スポーツ産業と地域との関わり
- ② [産業] スポーツ投資としての地域資源の活用と可能性：スポーツ投資と地域創造
- ③ [学術] ラグビー W杯は日本の地域に何を残したか：スポーツと地域のレガシー

▼パネルディスカッション登壇者（予定）

・山田啓二様

（京都産業大学学長補佐・法学部教授、京都府スポーツ協会会長、前京都府知事、前全国知事会長）

・中村考昭様

（クロススポーツマーケティング株式会社代表取締役社長、ゼビオホールディングス株式会社副社長執行役員）

・藤本淳也様

（大阪体育大学学長補佐・大学院スポーツ科学研究所スポーツマネジメント分野 教授）

※モデレーター：上田滋夢（追手門学院大学社会学部 教授）

リサーチ・カンファレンス2020発表募集について

次の要領にて、学生の発表を募集いたします。

○発表申込方法：日本スポーツ産業学会ホームページ「リサーチ・カンファレンス2020」よりお申込ください。

発表をされる方は参加申込を併せておこなってください。

○発表申込期限：2020年1月3日(金)（厳守）

○発表要旨提出期限：2020年1月14日(火)正午（厳守）（開催当日配布の要旨集原稿）

○若手研究者セッション、卒論セッション、ジュニアセッション要旨：

A4用紙2枚、発表要旨書式を学会HPよりダウンロードして使用

○発表要旨提出方法：

学会事務局宛（jssi@spo-sun.gr.jp）E-mail添付ファイルで提出

○発表当日までに用意する資料

プレゼンテーション用ppt（プレゼンテーション時間は12分程度を予定）

○表彰

・審査対象：発表要旨

・表彰のカテゴリー：

若手研究者セッション：大学院生

卒論セッション：学部4年生

ジュニアセッション：学部1～3年生・短大生・専門学校生

Sport Policy for Japan 2019 (SPJ) 開催報告

Sport Policy for Japan (SPJ) は、大学生による日本のスポーツ政策についての研究成果と提言を発表し合い、意見交換と交流を図る場です。また、スポーツ科学、スポーツマネジメント、スポーツ政策の研究者、外部有識者等による評価と表彰も行います。2011年の第1回大会から笹川スポー

ツ財団の主催によって開催されてきましたが、今年度は「Sport Policy for Japan企画委員会」と日本スポーツ産業学会の共催、笹川スポーツ財団後援のもとで開催されました。また、(株)協栄、(株)TSO International からご協賛をいただきました。今年度の参加は24大学、61チーム、327名の学生

となりました。

受賞については、次の19件です。

○最優秀賞：1件

・東洋大学 山下ゼミB

「スポーツ界の指導的地位におけるジェンダーフリーを目指して～輝け！女性活躍推進プログラム～」

○優秀賞：7件

・日本大学 アダプテッド・スポーツ科学研究室
「スポーツ指導者のための“かもしれない運動”-KYT(危険予知トレーニング)の適応を目指して-」

・明治大学 澤井ゼミC

「東京を歩こう2020」

・立教大学 松尾ゼミAチーム

「子どもの運動支援の為にプラットフォーム化計画～「放課後エレベスト事業」～」

・神奈川大学 大竹ゼミナール3年チームS

「ホストタウンの有意性を生かした地域創生プラン～TOKYO2020後の地方の在り方～」

・立教大学 松尾ゼミBチーム

「大学スポーツと地域活性化の融合戦略」

・神奈川大学 大竹ゼミナール3年チームP

「孤立した高齢者を救え-犬を使った健康増進についての取り組み-」

・明治大学 後藤ゼミB

「友遊ボールでシンママを救え～Save the Fatherless family～」

○(株)協栄賞：1件

・東海大学 秋吉ゼミB

「児童虐待におけるスポーツ支援」

○スポルテック賞：1件

・神奈川大学 大竹ゼミナール3年チームS

「ホストタウンの有意性を生かした地域創生プラン～TOKYO2020後の地方の在り方～」

○笹川スポーツ財団賞：1件

・神奈川大学 大竹ゼミナール3年チームP

「孤立した高齢者を救え-犬を使った健康増進についての取り組み-」

○特別賞：8件

・東海大学 秋吉ゼミB

「児童虐待におけるスポーツ支援」

・四国大学 大野ゼミ

「AWASPORTS／あわスポーツ-新阿波おどり徳島復興-」

・東海大学 大津ゼミ

「UNIVASから発信する環境保全ムーブメント～日本の大学スポーツに求められる持続可能性～」

・神奈川大学 大竹ゼミナール3年チームJ

「中学武道必修化にともなう“する”相撲振興策～“みる”相撲から“する”相撲へ～」

・亜細亜大学 石黒ゼミA

「運動・スポーツによる高齢者ドライバーの交通事故減少を目指して～自動車教習所への新規事業「caringプログラム」の提案～」

・神奈川大学 大竹ゼミB

「大学を拠点とした総合型地域スポーツクラブへの支援策～神大クラブを事業モデルとして～」

・日本体育大学 日比野ゼミ

「20代女性のスポーツ実施率向上に向けて～「20代女性 あ、これスポーツライフ!？」の提案～」

・神奈川大学 小倉ゼミ

「Jリーグ社会連携プロジェクト推進強化-社会的価値評価水準の導入-」



授賞式風景



プレゼン風景

スポーツICT研究会開催報告

1. 第5回スポーツICT研究会

- 日時：2019年10月8日(火)19時00分～20時30分
- 場所：早稲田大学 早稲田キャンパス3号館
305教室
- テーマ：「5GとWi-Fiが共存するスタジアム空間の創出－課題と展望－」
- 話題提供者：古川 浩氏（PicoCELA株式会社
代表取締役CEO）
- 参加人数：27人

2. 第6回スポーツICT研究会

- 日時：2019年10月29日(火)19時00分～20時30分
- 場所：早稲田大学 早稲田キャンパス3号館
305教室
- テーマ：「スタジアムアリーナにおけるICT活用のネクストステージとは？」

- 話題提供者：河本敏夫氏（株式会社NTTデータ経営研究所 情報戦略事業本部
アソシエイト・パートナー）
上林 功氏（追手門学院大学社会学部 准教授）

- 参加人数：32人

3. 第7回スポーツICT研究会

- 日時：2019年11月12日(火)19時00分～20時30分
- 場所：早稲田大学 早稲田キャンパス3号館
305教室
- テーマ：「沖縄アリーナにみるスポーツ観戦イノベーション」
- 話題提供者：山内 強氏（沖縄市役所・企画部
参事兼プロジェクト推進室長）
- 参加人数：48人

事務局より

〈2019年度年会費納入のお願い〉

現在、2019年度年会費（正会員・7,000円、学生会員2,000円）の納入受付をしております。どうぞ宜しくお願い致します。

〔郵便振替〕口座番号 00160-1-600893
加入者名 日本スポーツ産業学会

〔銀行口座〕①三菱UFJ銀行 東京公務部 普通口座 3572697
②三菱UFJ銀行 神田支店 普通口座 1198315

〈新会員紹介のお願い〉

日本スポーツ産業学会の会員数は、現在、個人会員が約600名、賛助会員が21団体、法人会員が10団体です。本学会は、設立理念にもありますように、産業界、学界、官界と幅広い分野から会員を募り学会活動を進めています。学会の趣旨に賛同し、ともに研究を進める仲間を募っています。下記事務局にご紹介頂ければ幸いです。

日本スポーツ産業学会事務局

〒202-0021 東京都西東京市東伏見2丁目7番5号
早稲田大学75-2 体育教室棟301号室
早稲田大学スポーツビジネス研究所内
TEL/FAX：042-461-1241
E-mail：jssi@spo-sun.gr.jp
<https://spo-sun.gr.jp/>

「スポーツ産業学研究」原稿募集

「スポーツ産業学研究」の原稿を募集します。奮って寄稿されるようご案内致します。

1. 原稿の種類 フォーラム，原著論文（総合研究，理論研究，事例研究，調査研究），研究ノート，書評，アゴラなど。
2. 原稿の採否 編集委員会により投稿分類の妥当性および査読の可否を判定した後に査読委員が選ばれ査読が依頼される。その査読結果をもとに編集委員会は原稿の採否を決定し，その結果を投稿者に通知する。
3. 提出する原稿 メールへの添付ファイル（ワードかPDF，図表はエクセル可）で送付のこと。
4. 論文の送付先 〒202-0021 東京都西東京市東伏見2丁目7番5号
早稲田大学75-2 体育教室棟301号室
早稲田大学スポーツビジネス研究所内
日本スポーツ産業学会編集委員会
5. 執筆方法 「スポーツ産業学研究」投稿規定（学会ホームページ）を参照。

日本スポーツ産業学会 「学会ニュースNo.112」

発行日：2020年1月1日

発行者：日本スポーツ産業学会理事長 北村 薫

編集者：児玉ゆう子，中村 好男，磯貝 浩久，元 晶煜
岡 浩一郎，梶川 裕矢，越川 茂樹，藤田 康範
藤本 淳也，金子佐知子（事務局）

事務局：〒202-0021

東京都西東京市東伏見2丁目7番5号
早稲田大学75-2 体育教室棟301号室
早稲田大学スポーツビジネス研究所内
日本スポーツ産業学会事務局

TEL：042-461-1241

E-mail：jssi@spo-sun.gr.jp

<https://spo-sun.gr.jp>